

PT・OT ビジュアルテキスト

# 身体障害作業療法学1

## 骨関節・神経疾患編

contents

● 序 小林隆司

### 第1章 基礎編

<b>① 概論</b>	小林隆司	14
① 身体障害とは		14
② 身体障害作業療法のプロセス		14
1) マネジメント型作業療法プロセス 2) エンゲージメント型作業療法プロセス		
③ 骨関節・神経疾患における目標設定		18
④ 協調アクション		21
<b>② 作業遂行へのアプローチ</b>	石橋 裕	22
① 作業遂行とは		22
② 導入		22
1) いつ作業遂行にアプローチするのか 2) 導入に向けた力ギ：面接 3) 面接で使用する評価法		
③ 作業遂行の目標立案		27
1) AMPS 概念モデル 2) 目標立案のポイント		
④ 遂行観察の実施		29
遂行観察のポイント		
⑤ 遂行観察の結果の分析		31
1) 作業遂行に影響を与えてる要因の特定 2) 作業遂行の問題認識の確認		
⑥ 作業遂行へのアプローチ		31
1) 具体的なアプローチ法 2) 留意すべき点		
<b>③ 運動学習</b>	塩津裕康	35
① 運動学習の基礎		35
1) 運動学習とは 2) 運動学習の過程		

<b>2 運動学習に関する諸理論</b>	37
1) 学習理論 2) 運動学習と運動制御	
<b>3 運動学習に関する因子</b>	42
1) 個人差の影響 2) 実践のプロセス	
<b>4 運動学習の評価</b>	46
1) 保持 2) 般化 3) 転移	
 <b>4 知覚再学習</b>	佐野伸之 48
<b>1 感覚、知覚と作業活動の関連</b>	48
<b>2 感覚、知覚とは：感覚受容器の特徴</b>	49
1) 感覚と知覚 2) 体性感覚と特殊感覚	
<b>3 感知した刺激の処理と統合</b>	50
<b>4 知覚の能動性（アクティブ・タッチ）</b>	51
<b>5 損傷によって生じる末梢神経や脳の変化</b>	54
<b>6 知覚再学習のための評価と解釈</b>	55
<b>7 知覚再学習に関するアプローチ</b>	56
1) 防御知覚障害の指導 2) 知覚再学習（他動的触覚、能動的触覚） 3) 知覚-運動学習 4) 動作学習 5) その他のアプローチ	
 <b>5 関節可動域・筋力へのアプローチ</b>	南 征吾 62
<b>A) 関節可動域の基礎</b>	
<b>1 関節の基礎知識</b>	62
1) 関節の構造 2) 関節包の構造 3) 鞘帯 4) 皮膚	
<b>2 関節運動</b>	65
1) 関節包内運動 2) 関節運動の軸性と分類 3) 関節の運動方向と関節可動域測定	
<b>3 最終域感（エンドフィール）</b>	68
<b>4 関節可動域制限の発生要因</b>	68
<b>5 痛み</b>	70
<b>B) 筋の基礎</b>	
<b>1 筋収縮の分類</b>	71
<b>2 筋力の測定</b>	71
1) 徒手筋力検査 2) 機器を用いた筋力検査 3) 超音波画像	
<b>C) 関節可動域と筋力へのアプローチ</b>	
<b>1 作業療法における関節可動域と筋力へのアプローチ</b>	73
<b>2 関節可動域と筋力へのアプローチの実際</b>	74
1) 関節可動域運動 2) 筋力トレーニング	

## 第2章 疾患編

<b>① 脳卒中</b>	齋藤佑樹	80
<b>1 疾患概要</b>		80
1) 脳卒中とは 2) 脳卒中の種類 3) 脳卒中が引き起こす主な障害		
<b>2 作業療法評価</b>		82
<b>3 作業療法プログラム</b>		86
1) プログラムを立案する前に 2) 活動・参加に対する支援 3) 環境に対する支援		
4) 心身機能に対する支援		
<b>■ アクティブラーニング—症例から学ぶ</b>		111
ADL自立とカレーブルを希望する脳梗塞の68歳男性		
<b>② 脊髄損傷</b>	水谷とよ江	113
<b>1 疾患概要</b>		113
1) 脊髄の解剖 2) 脊髄の障害		
<b>2 作業療法評価</b>		116
<b>3 作業療法プログラム</b>		117
1) 活動と参加：ADL 2) 環境：車椅子利用者における住宅改修 3) 心身機能		
<b>■ アクティブラーニング—症例から学ぶ</b>		133
ADL自立を望む頸髄損傷完全麻痺の19歳男性		
<b>③ 関節リウマチ</b>	佐藤信治	135
<b>1 疾患概要</b>		135
1) 関節リウマチとは 2) 診断基準 3) 目標達成に向けた関節リウマチ治療 (T2T)		
4) 薬物療法 5) 臨床検査項目 6) 画像診断 7) 手指変形		
<b>2 作業療法評価</b>		144
<b>3 作業療法プログラム</b>		147
1) 活動と参加 2) 環境：生活指導 3) 心身機能		
<b>■ アクティブラーニング—症例から学ぶ</b>		154
関節リウマチの進行がみられる35歳女性		
<b>④ 骨折および関節疾患</b>	寺岡 瞳	156
<b>1 疾患概要</b>		156
1) 大腿骨頸部骨折 2) 桡骨遠位端骨折 3) 变形性膝関節症 4) 腰椎椎体骨折		
5) 上腕骨近位端骨折		
<b>2 作業療法評価</b>		159
<b>3 作業療法プログラム</b>		161
1) 大腿骨頸部骨折 2) 桡骨遠位端骨折 3) 变形性膝関節症 4) 腰椎椎体骨折		
5) 上腕骨近位端骨折		

■ アクティブラーニングー症例から学ぶ	176
ADLの自立に不安を抱く橈骨遠位端骨折の69歳女性	
<b>⑤ 手の外科</b>	佐野伸之 178
<b>A) 末梢神経損傷</b>	
1 疾患概要	178
1) 末梢神経損傷の分類 2) 末梢神経の修復過程 3) 手の末梢神経損傷の特徴	
2 作業療法評価	180
3 作業療法プログラム	182
1) 活動と参加 2) 人的・物的環境 3) 心身機能：修復過程に応じた治療プログラムの流れ	
<b>B) 手指の腱の損傷</b>	
1 疾患概要	186
1) 手指の腱のはたらきと損傷部位による分類 2) 術式 3) 術後の修復過程	
2 作業療法評価	189
3 作業療法プログラム	189
1) 活動と参加 2) 人的・物的環境 3) 心身機能：修復過程に応じた治療プログラムの流れ	
■ アクティブラーニングー症例から学ぶ	197
職場への早期復帰を希望する尺骨神経損傷の54歳男性	
<b>⑥ 热傷</b>	妹尾勝利 199
1 疾患概要	199
1) 皮膚の構造 2) 皮膚の感覚受容器とその分布 3) 健常皮膚の特性 4) 热傷とは 5) 合併症 6) 治療法	
2 作業療法評価	210
3 作業療法プログラム	213
1) ショック離脱期後から創閉鎖まで 2) 創閉鎖から社会復帰まで 3) スプリント療法	
■ アクティブラーニングー症例から学ぶ	218
シンナーへの引火により重症熱傷となった男性	
<b>⑦ 神経変性疾患</b>	三橋里子 219
1 疾患概要	219
1) パーキンソン病とは 2) 脊髄小脳変性症とは 3) 筋萎縮性側索硬化症とは	
2 作業療法評価	224
3 作業療法プログラム	229
1) パーキンソン病 2) 脊髄小脳変性症 3) 筋萎縮性側索硬化症	
■ アクティブラーニングー症例から学ぶ	241
7年前にパーキンソン病を発症した73歳男性	

<b>⑧ 神経免疫疾患</b>	須山夏加	243
<b>1 疾患概要</b>		243
1) 神経免疫疾患とは 2) 多発性硬化症 3) ギラン・バレー症候群 4) 重症筋無力症 5) その他の神経免疫疾患		
<b>2 作業療法評価</b>		245
<b>3 作業療法プログラム</b>		247
1) 治療活動・作業種目 2) 環境・福祉用具 3) 疾患ごとの作業療法プログラム		
<b>■ アクティブラーニング—症例から学ぶ</b>		256
独り暮らしと復職を望む多発性硬化症の34歳女性		
<b>● 索引</b>		258